



# 生涯スポーツとやま

## Life-Long Sports



結団壮行式



フェニックス



キトキト君



ザッキー

第50号  
2009

発行日/平成22年2月

発行/富山県生涯スポーツ協議会

〒939-8252 富山市秋ヶ島183 富山県総合体育センター内

TEL076-428-8522 FAX076-428-8577

印刷/(株)なかに印刷

生涯スポーツ協議会ホームページ URL <http://www.sportsnet.pref.toyama.jp/member/syougai-sports>

第22回全国スポーツ・レクリエーション祭

# スポレクみやざき2009

皆来んね 笑顔まんかい 神話の国で

期間／平成21年10月17日(土)～20日(火)

会場／宮崎県一円



4日間ともさわやかな秋空に恵まれた「スポレクみやざき2009」には、本県から、東野団長代行以下役員・選手172人が参加しました。

開会式は、大小フェニックスが繁り南国情緒あふれる宮崎県総合運動公園陸上競技場で行われました。本県選手団は県花チューリップを携えて参加し、笑顔で大会での健闘と交流を誓い合いました。

翌日から、「皆来んね 笑顔まんかい 神話の国で」のスローガンのもと、各会場において全国の参加者や地元の皆様と交流を深めながら、熱戦が展開されました。そして「元気富山」と「スポレクとやま2010」が随所でPRされました。

本県選手団の健闘の結果は次のとおりです。

## 1. グラウンド・ゴルフ

いきいき富山

ブロック	氏名	1回目	2回目	3回目	合計	順位
A組	中居 洋	20	21	14	55	7位
	小竹 昌子	19	25	20	64	41位
B組	日下 正代	18	24	25	67	66位
	辻 忠	20	22	22	64	41位
C組	深澤 フミ	26	21	26	73	97位
	末永外喜男	21	21	22	64	45位
D組	千保 由守	22	21		43	
	吉田美智子	22	21	24	67	71位
E組	今庄 信孝	19	20	22	61	33位
	竹部 清	23	21	16	60	26位



会場の広さに驚く。参加者を急がせない運営。タイムスケジュールを十分に検討し、何回もリハーサルをされたと思う。役場の職員と閉会式後に握手した時、職員の目に涙がたまっていた。一生懸命やっておられたので感謝の気持ちでいっぱいである。  
(監督 末永外喜男)

## 2. ゲートボール

氷見上田球友・願海寺

(氷見上田球友)

第1日目	《予選リンク戦》	予選グループ	(2勝0敗)	1位
氷見上田球友	15	-	9	互遊会(三重県)
氷見上田球友	14	-	9	藤枝(静岡県)

第2日目	《決勝リンク戦》	予選1位グループ	(1勝1敗)	
氷見上田球友	11	-	9	久保田町(佐賀県)
氷見上田球友	12	-	16	大分フレンド(大分県)

★特別賞 受賞

(願海寺)

第1日目	《予選リンク戦》	予選グループ	(2勝0敗)	1位
願海寺	17	-	7	ザ・ひま人(愛媛県)
願海寺	16	-	12	まるよしチーム(宮崎県)

第2日目	《決勝リンク戦》	予選1位グループ	(0勝2敗)	
願海寺	7	-	11	鯖江クラブ(福井県)
願海寺	8	-	15	竹松同好会(長崎県)

★特別賞 受賞



盛大な総合開会式並びにゲートボール競技会会場において、大会役員の方々からの多大な歓迎を受け、素晴らしい2日間でした。試合結果は最終試合に負けてしまい、少し残念でした。来年は歓迎する立場になりますが、今回の経験を生かせればと思います。  
(氷見上田球友チーム代表 瀬戸 康子)

宮崎大会での予選リンク戦ではコートでも、総合でも1位になりましたが、決勝リンク戦では強豪チームとの対戦でしたので2敗しました。スポレク賞をいただきましたので成績に満足しています。他県との交流と懐かしい人にも会いましたので、今大会も思い出に残る大会でした。閉会式では次回開催広報賞の特別賞までいただきました。富山県の本部役員及び県生涯スポーツ協議会に感謝しています。  
(願海寺チーム主将 黒滝 英美)

### 3. 壮年サッカー

#### 富山県選抜

第1日目				
富山県選抜	2	1 - 0	0	えひめ四十雀フットボールクラブ (愛媛県)
		1 - 0		
第2日目				
富山県選抜	1	0 - 0	2	兵庫シニア選抜 (兵庫県)
		1 - 2		
富山県選抜	0	0 - 0	0	EDOMON'S (東京都)
		0 - 0		
第3日目				
富山県選抜	2	1 - 0	0	山形モセスサッカークラブ (山形県)
		1 - 0		

★Dブロック (6チーム) 2位



富山県シニアサッカー連盟所属チームからの選抜選手18名、役員2名の総勢20名で挑んだ大会でした。堅守速効型のチームコンセプトで初戦 (vs 愛媛) を2:0で勝利し、vs 兵庫は1:2の惜敗、vs 東京は3試合を無失点に抑えたことはGKを中心に声を掛け合い、集中して守備をした結果です。また、素早いカウンター攻撃は、日頃の鍛練による走り抜く力と技術力の結果です。今後は、技術力をさらに高め、きたる2010 富山大会に向け再出発です。(報告 並川 宏英)

### 4. ソフトバレーボール

#### 戸出クラブ

第1日目《予選リーグ》(2勝0敗)				
戸出クラブ	2	15 - 8	0	韓国A (韓国)
		15 - 12		
戸出クラブ	2	15 - 8	0	宮崎DパーフェクトII (宮崎県)
		15 - 12		
第2日目《1位グループリーグ》(0勝2敗)				
戸出クラブ	0	6 - 15	2	仁戸名VC(千葉県)
		3 - 15		
戸出クラブ	0	9 - 15	2	新津さつき (新潟県)
		7 - 15		



神話の国、宮崎へ。殆どの方が初めて訪れる県だった。初日からいい天気で、気温も24℃近くまで上がった。初戦は韓国チームとの試合で、ドキドキしながら勝ちました。他県ではソフトバレーボールが盛んで、多くの方が楽しんでいるらしいです。広々とした南国の土地での思い出の多い4日間でした。

(監督 吉崎 由夫)

### 5. 女子ソフトボール

#### ファインズ

第1日目《予選リーグ戦》(2勝0敗) 決勝リーグ進出				
ファインズ	4	0		福栄レディース (山口県)
ファインズ	3	0		グリーンチェッカーズ (滋賀県)
第2日目《決勝リーグ戦》				
ファインズ	14	0		L e T ' S (新潟県)
第3日目《決勝戦》				
ファインズ	3	2		佐野ベリアーズ (栃木県)



前回出場のスポレク岩手に続いて、本大会で優勝出来たことが一番嬉しいです。観光などいっさい出来ず、毎日試合が出来たことに本大会に参加した意義があったと思います。(ファインズ 樋野千鶴子)



### 6. ラージボール卓球

#### 福光卓愛会

第1日目《予選リーグ戦》(0勝3敗) グループ4位				
福光卓愛会	1	3		だんだんチーム (島根県)
福光卓愛会	1	3		とびうめチーム (福岡県)
福光卓愛会	0	3		わかばクラブ (茨城県)
第2日目《4位グループリーグ戦》(1勝1敗) グループリーグ敗退				
福光卓愛会	3	2		加津佐クラブ (長崎県)
福光卓愛会	1	3		そのまんま宮崎 (宮崎県)



「皆来んね、笑顔まんかい、神話の国で」のスローガンのもと、県民が一体となって温かく接して下さったことに大変感動いたしました。連日、宿舎から会場までの計画バスの運行、スムーズな競技運営…不安なく試合に臨むことが出来ました。試合結果はいまひとつでしたが、選手一人ひとりが十分力を発揮し、今後の課題を見つけたようです。県の役員の方、視察団の皆様方、応援ありがとうございました。

(監督 細川 玲子)

## 7. ターゲット・バードゴルフ

チューリップとなみ

### 第1日目《個人戦》

男子シニア 60才～70才 の部 58名参加	二俣 克巳	スコア 82	16位	男子総合 133名参加	39位
	清原 孝明	スコア 97	43位		105位
	青山 義雄	スコア 86	25位		55位
	境 正男	スコア 88	27位		62位

### 第2日目《2人組戦》

Aグループ	二俣・清原組	スコア 77	42位	89名参加
Dグループ	青山・境組	スコア 77	42位	

快晴の日であったが、強風にみまわれて日頃の技量を発揮できず、残念であったが、来年の「スポレクとやま 2010」を十分PRできたと思っています。

(監督 二俣 克巳)



## 8. 男女混合綱引

きときと魚津綱引隊

### 第1日目《予選リーグ》1本引Bブロック (2勝2敗)

第1試合目	きときと魚津綱引隊	○ — ×	綱吉 (青森県)
第2試合目	きときと魚津綱引隊	× — ○	安芸府中綱引倶楽部 (広島県)
第3試合目	きときと魚津綱引隊	× — ○	川南男塾 (宮崎県)
第4試合目	きときと魚津綱引隊	○ — ×	垣本ぶどう園 (三重県)

### 第2日目《決勝リーグ》2本引きDブロック (4勝2敗) 2位

第1試合目	きときと魚津綱引隊	○ — ×	綾歌町綱引同好会 (香川県)
第2試合目	きときと魚津綱引隊	× — ○	KC・KYクラブ (宮崎県)
第3試合目	きときと魚津綱引隊	○ — ×	I LOVEおぎ (佐賀県)



役員、スタッフ、地元の皆さんの大会によせる気持ちと思いがこもった素晴らしい大会であったと思う。大会の運営もスムーズであり、アトラクションの踊りなどには一緒に参加させてもらい楽しかった。宮崎の皆さんの暖かい歓迎のもとで、帰ってからもしばらくは気持ちよく、心の中に残っていた。

(監督 川崎 敏行)

## 9. 年齢別テニス

いちじく

### 第1日目《予選リーグ》4位トーナメントへ

いちじく	50代	0 — 4	岡山桃太郎侍 (岡山県)
	40代	0 1 — 4	
	30代	4 — 5	
いちじく	50代	1 — 4	韓国B (韓国)
	40代	0 0 — 4	
	30代	2 — 4	
いちじく	50代	1 — 4	浜木綿 (宮崎県)
	40代	0 0 — 4	
	30代	1 — 4	

### 第2日目《4位グループトーナメント》1回戦

いちじく	50代	2 — 4	2	チーム米沢・上杉庭球隊 (山形県)
	40代	0 2 — 4		
	30代	—		



さすがは南国 宮崎という暑いくらいの晴天にめぐまれました。競技の目標であった1勝は遠く悔しい思いをしました。しかし、前夜祭を含め、大会2日間を通して全国のチーム・韓国のチームとの交流が楽しく出来たこと、来年の富山の開催をアピール出来たことが大変有意義でした。また大会を通じて地元スタッフや補助員の高校生など、宮崎の人たちの優しさを感じるスポレク宮崎 2009 でした。

(監督 野中 靖夫)

## 10. 年齢別ソフトテニス

キトキト 富山

### 第1日目《予選リーグ》3位

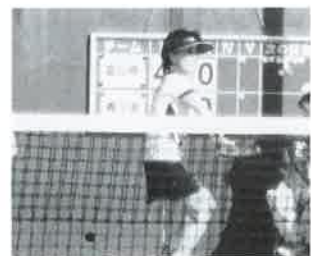
キトキトとやま	1	4 — 1	2	丸亀城 (香川県)
		0 — 4		
キトキトとやま	0	3 — 4	3	赤い鯉 2009 (広島県)
		0 — 4		
		1 — 4		
キトキトとやま	2	4 — 1	1	ガバイチーム (佐賀県)
		1 — 4		
		4 — 2		

### 第2日目《3位グループ》リーグ戦

キトキトとやま	1	4 — 3	2	水都・大垣 (岐阜県)
		0 — 4		
キトキトとやま	2	1 — 4	1	花よりだんご (山梨県)
		4 — 3		
		1 — 4		
		4 — 0		

好天に恵まれ、思いきりプレーを楽しむことが出来ました。観光も出来、来年の富山大会もアピールしてきました。皆様、お疲れ様でした。そして関係者の方々ありがとうございました。

(監督 辰尾 静好)



## 11. バウンドテニス

ひかり・ときめき滑川

### 第1日目《チーム別対抗 BT ラリー戦》12位

1回目 24回 2回目 40回 3回目 33回 (合計 97回)

《ダブルス戦予選リーグ》(0勝2敗)			
ひかり・ときめき滑川	0	—	3 神話の里宮崎(宮崎県)
ひかり・ときめき滑川	0	—	3 米子おしどり(鳥取県)
《ダブルス戦 順位決定戦》3位グループ1回戦			
ひかり・ときめき滑川	2	—	1 はまゆう(和歌山県)
第2日目《3位グループ準決勝》敗退3・4位決定戦へ			
ひかり・ときめき滑川	1	—	2 小平市バウンドテニス協会(東京都)
《3位グループ3・4位決定戦》4位			
ひかり・ときめき滑川	1	—	2 総和バウンドテニスクラブ(茨城県)



会場に入り、先ず目についた応援の幟「めざせ優勝!!」の声援に送られ、チーム別対抗B Tラリー戦にいざ挑戦。入賞まであと一打、惜しくも12位、ちよびり残念。ダブルス戦は3位グループ4位ではありましたが、対戦相手との控室等での情報交換、試合後廊下で顔を合わせると話も弾み、沢山の方々と交流する楽しい時間が過ごせました。

また、次回開催地(富山)の話題にのぼり「みやざき大会」以上に思い出に残るようなおもてなしができればいいなと思いました。(監督 坂口 司)

## 12. 年齢別バドミントン

チーム 雷鳥

第1日目《予選2チーム戦》1敗						
チーム雷鳥	50歳以上混合ダブルス	2	—	1	韓国 A(韓国)	
	30歳以上女子ダブルス	1	0	—		2
	40歳以上男子ダブルス	0	—	2		
第2日目《敗者グループ戦》(2勝0敗)						
チーム雷鳥	50歳以上混合ダブルス	2	—	1	西擋クラブ(兵庫県)	
	30歳以上女子ダブルス	3	2	—		0
	40歳以上男子ダブルス	2	—	0		
チーム雷鳥	50歳以上混合ダブルス	2	—	0	フェニックス(福井県)	
	30歳以上女子ダブルス	2	2	—		1
	40歳以上男子ダブルス	0	—	2		
第3日目《敗者グループ表彰トーナメント戦》1回戦						
チーム雷鳥	50歳以上混合ダブルス	2	—	0	とよなか(大阪府)	
	30歳以上女子ダブルス	2	0	—		2
	40歳以上男子ダブルス	2	—	1		
第3日目《敗者グループ表彰トーナメント戦》決勝戦1位						
チーム雷鳥	50歳以上混合ダブルス	2	—	0	枕崎クラブ(鹿児島県)	
	30歳以上女子ダブルス	2	2	—		1
	40歳以上男子ダブルス	—	—	—		0

## 「生涯スポーツ わが人生」

### エアロビックとの出会いから

富山県エアロビック連盟 清水治男・由美子



あるスポーツジムで汗を流しているときに声をかけられたことが、エアロビックとの出会いでした。「今日はエアロ参加者が少ないので、一緒に参加しませんか？」と笑顔が素敵でチャーム的なインストラクターに声をかけられてびっくりし、周りを見渡しました。すると、メンバーは全て女性ではありませんか。「やったことがないので」と丁寧に断りすると、「やりましょうよ、やりましょう。」と少し強引にスタジオに招き入れてくれました。

そのときにチラッとメンバー中の妻をみると「やった」という表情でした。私も満更でもなかったので思いきってトライしてみると、初心者の方にもわかりやすく丁寧に指導していただいたので、初心者コースに心地よい汗をかきました。

1年くらいして、次第にステップに慣れ、「もっと綺麗なフォームで楽しみたいね。」と話していると「エアロの技能検定がありますよ。」とインストラクターに紹介されました。妻が最初に挑戦し、私も還暦を期して挑戦です。現在は妻が4級、私が5級に至るまで上達しました。

今後も夫婦の健康と人生を謳歌して、仲間とともにエアロビックをもっと楽しんでいこうと思います。



南国、宮崎で日頃の練習の成果を充分に発揮出来るかが本大会でのわがチームの目標でした。体調をくずしたり、ケガをした時、地元高鍋町の皆さんには大変お世話になりました。最終日には思いもよらなかった結果を出すことができました。高鍋町の皆さん、本当にありがとうございました。

(監督 西山 松雄)

## 13. 壮年ボウリング

きときと富山

第1日目《男女混合4人チーム戦》				得点 総合順位	4,542点 7位
選手名	前半	後半	合計		
江幡 洋一	554	606	1,160		
吉田美智子	522	482	1,004		
岩井 親孝	741	725	1,466		
久郷 冬野	431	481	912		
第2日目《男女混合2人チーム戦》(50歳代)				得点 総合順位	2,149点 25位
江幡 洋一	601	535	1,136		
吉田美智子	544	469	1,013		
《男女混合2人チーム戦》(60歳代)				得点 総合順位	2,401点 2位
岩井 親孝	700	705	1,405		
久郷 冬野	542	454	996		
《年齢別個人戦》				得点 総合順位	2,296 25位
江幡 洋一	50才代男子		2,296		
吉田美智子	50才代女子		2,017		
岩井 親孝	60才代男子		2,871		
久郷 冬野	60才代女子		1,908		

全国スポレクみやぎ大会に参加し、好成績をおさめることができました。全国の選手と親睦を深め、富山大会を大いにPRしてまいりました。  
(監督 岩井 親孝)



今回の宮崎大会は、欠席者が出たりして、本県からの参加選手数としては最も少ない大会でした。今年5月に日韓スポーツ交流で親しくなった韓国選手団の方達にも再会でき、交流の場を再現できたことはとても有意義だったと思います。この宮崎大会を参考に、来年の富山大会もぜひ成功させたいもの！と祈念し、会場を後にした。

(監督 野尻 順子)

## 15. インディアカ

きときと

第1日目《順位別決定リンクリーグ戦》(1勝2敗)			
第1試合	きときと	0 - 3	ブラックマロンみやぎ(宮城県)
第2試合	きときと	2 - 1	東山代インディアカ(佐賀県)
第3試合	きときと	0 - 3	ホトニクス(静岡県)
第2日目《順位別決勝リンクリーグ戦》Fコート3位全国32位			
第1試合	きときと	3 - 0	荒尾りんどう(熊本県)
第2試合	きときと	1 - 2	グリパラ(石川県)
第3試合	きときと	1 - 2	チームおだわら(神奈川県)



大会開催中は大変お天気にも恵まれ、屋外のおもてなしコーナーも盛大で、各県の選手がリラックスして、地鶏、産地のジュース、お茶席など宮崎の味を楽しんでいました。

体育館の中では各コート熱戦が繰り広げられていましたが、試合が終われば和気あいあい握手を交わし、楽しい明るい雰囲気で大変良かったと思います。スタッフの皆さんの一生懸命さは十分伝わってきました。アットホームな雰囲気のすばらしい大会でした。  
(選手 津田 壽美子)

## 14. マスターズ陸上競技

富山県マスターズ陸上競技連盟

第1日目				
60M	W70+	盛田ひなこ	12秒70	8位
200M	M55	西村 義弘	29秒32	4位
1500M	M55	猪島 裕永	5分10秒90	2位
1500M	W50	柳瀬 美子	6分32秒91	4位
1500M	W65	温井 淑子	DNS	欠場
やり投	W70+	盛田ひなこ	16m81	1位
第2日目				
100M	M65	大村 淳治	15秒37	10位
800M	M55	柳瀬 和昭	2分54秒82	6位
5000M	M40	山中 勝也	18分22秒37	5位
三段跳	M80+	廣瀬 弘	6m07	1位
第3日目				
200M	M65	大村 淳治	31秒56	6位
400M	M55	西村 義弘	1分06秒24	3位
800M	W50	柳瀬 美子	3分15秒27	5位
800M	W65	温井 淑子	4分14秒20	4位
5000M	M55	猪島 裕永	19分00秒38	3位
走幅跳	M80+	廣瀬 弘	2m79	3位



## 16. フォークダンス

レインボーバード

第1日目	
<ul style="list-style-type: none"> <li>チームを8つのブロックに分けて演技発表を行なう。</li> <li>代表者会議にて富山県のブロックは、福岡県・鹿児島県・石川県・岩手県・群馬県で構成され、ブロック名は「樞の碁盤」に決まった。課題曲は、フォークダンスが「ボルカ・ディン・バトゥルン(ルーマニア)」に、日本民謡が「柿崎しげさ(新潟県)」に決定。</li> </ul>	
第2日目	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック毎に課題曲を練習</li> <li>1ブロックからフォークダンス、民謡の順で発表する。</li> </ul>	
★富山県は、(2ブロック) スポレク賞を受賞する。	



スポレクに向けての練習と、良い仲間恵まれてスポレク賞を手にすることが出来ました。また開催地の綾町のスタッフの方々の手際の良い運営とあたたかきもてなしで楽しませて頂きました。

来年は富山県での開催となり、全国の仲間たちに良い思い出を作ってもらえるよう頑張らなくてはという思いを強く持りました。  
(監督 国分 万智子)

## 17. エアロビク

ゆらゆら太陽小町

### 第1日目

- ・交流プログラム
- ・規定演技合同レッスン
- ・規定演技発表

### 第2日目

- ・自由演技発表を終え、第1日目の規定の結果と合わせ、優秀賞(10チーム)を受賞。



目標にしていたスポレク賞(優秀10チーム)を受賞でき大変うれしく思っています。富山は来年の開催県ということで多数の視察団が見守り、大変なプレッシャーの中での演技でしたが、他県の方々に大きな声援をいただき楽しく演技できました。

会場を一步出ると、青い海、広い空が見え、とても気持ちの良い会場で、たくさんの方と交流ができ、運営スタッフの方々にもお世話になり、思い出に残る大会となりました。来年はお迎えする立場として、スポレクを盛り上げていきたいと思います。  
(監督 池森、和代)

## 18. トランポリン

きときと やま

### 第1日目

第1回戦	きときとやま	×	2敗4引分	○	ルスティック(千葉県)
第2回戦	きときとやま	○	4勝1敗1引分	×	めじろん大分(大分県)

### 第2日目《予選リーグ》2位

第3回戦	きときとやま	○	1勝5引分	×	びわっこ(滋賀県)
------	--------	---	-------	---	-----------



今大会も7名のフルメンバーで参加することができました。昨年は全勝しながらのポイントで惜しくも予選リーグで敗退。来年の富山本大会に向けて今年こそは、とがんばりましたが、多少緊張で固くなったようで、決勝リーグには進めませんでした。しかし、レセプションでは、十分にリラックスして「まっとうちゃ!」とスポレクとやま2010をアピールしてきました。  
(監督 佐伯 和哉)

## 閉会式 =全国の仲間と再会を誓う=

閉会式は、最終日の20日、宮崎市のメディキット県民文化センターで行われ、富山県選手団は35名参加しました。

大会マスコットの「きときと君」と「ザッキー」の掛け合いや東国原宮崎県知事と植出富山県副知事の軽妙な挨拶など、ほのぼのとした雰囲気の中でスポレク祭典旗が引き継がれました。

次期開催県の富山県紹介ステージでは、本県の特徴をDVD映像とスポレク大使のトークで紹介した後、エアロビクチームが「きときと夢体操」をリズム一杯に踊り拍手喝采を受けました。続いて県選手団が全員ステージに上がり、チューリップを高く振りかざしながら、「皆さん とやまに來られ!」の横断幕で「スポレクとやま2010」をPRしました。

最後に、参加者全員で「あの鐘を鳴らすのはあなた」を大合唱し、宮崎県に感謝の意を表しつつ富山県での再会を期して閉会しました。(事務局)



## さあ今度は とやまスポレク

### 全国スポレクを終えて

今大会においても、多くの本県選手が熱戦を展開し、活躍が見られました。女子ソフトボールチーム「ファインズ」、壮年ボウリング岩井親孝選手の優勝をはじめ、壮年サッカーなどいくつかの種目で上位入賞を果たしました。

どの種目においても、熱いまなざしと真剣なプレーそしてあるときは競技を楽しみながら親睦、交流を深めるなどいろんな場面がみられ、今年のスポレク本番につながる内容と成果があげられました。選手の皆さん本当にお疲れ様でした。

今年はいよいよ「スポレクとやま2010」が、全29種目にわたり県内全市町村で開催されます。全国から参加される皆さんを温かくもてなし、そして大会を盛り上げるために全県民あげて準備に万全を期したいものです。生涯スポーツ・レクリエーションの最大祭典の開催を通して、富山県の良さを全国に発信するとともに元気で明るい富山県民づくりに結びつけましょう。

以上、「スポレクみやざき」における本県選手の活躍の概要でした。

(事務局)

# スポレク普及振興事業を実施してみても

平成19年、20年、21年度の3年間、県の補助を受けて、スポレク普及振興事業が実施されました。各団体ともにもめざましい成果が上がり、この事業の実践をとおして培われたものが「スポレクとやま2010」で、さらには将来にわたって大きく羽ばたいていくことと確信しています。アンケートからこの3年間の成果と今後の方向性をまとめてみました。

## 1 実施状況

事業名等		H19	H20	H21(計画)
優秀指導者等招へい事業	団体数	26	33	34
	事業数	35	42	44
	参加者数	2,805	4,327	4,163
スポーツ教室等開催事業	団体数	26	34	34
	事業数	35	101	98
	参加者数	2,805	6,217	6,715

## 2 成果や効果（アンケート抜粋）

### 優秀指導者等招へい事業

- 指導者の資質向上と組織の充実がはかれた。
- 指導者間の情報交換と交流が深まった。
- 種目や試合に対する考え方、取り組方など、会員に意識改革がもたらされた。
- 中央団体との連携が強まり、ルールについての統一見解ができるなど、審判員の資質向上につながった。
- 技術が顕著に向上し、連続して全国1位の成績を収めることができた。
- 短時間で効果ある練習方法など、指導者のいないチームにとっては有効であった。
- 元全国チャンピオンの指導者と直に接する中から、技術、練習方法やメンタル面などで一段と会員の意識向上がはかれた。ジュニアにとっても、自分も将来は全国クラスの選手にという動機付けにつながった。
- 県外実力チームとの交流を通して、刺激を受け、発奮材料となった。



富山県ユースホステル協会  
優秀指導者等招へい事業



富山県エアロビック連盟  
優秀指導者等招へい事業

### スポーツ教室等開催事業

- 県民スポレク祭への参加者が増えたほか、チームや会員数が増加するなど、一般愛好者へアピールする絶好の機会となった。
- ジュニア対象の交流会・教室の開催により、底辺拡大をはかることができた。
- 子どもたちへの接し方などを学ぶことができた。
- 全国スポレク祭開催地住民の関心が高まった。
- スポーツ少年団や中学生の大会での好成績につながった。
- 三世代交流教室をとおして、徐々に参加者が増え、会員の加入数も増えた。
- 地域における健康づくりのプログラムを提供できた。



日本女子テニス連盟富山県支部  
スポーツ教室等開催事業

## 3 今後の方向性や要望

- 気運が盛り上がっている時期であり、両事業の継続を期待する。
- 県内では得られない技術・理論を有する優秀指導者を今後も招へいしたい。
- 素晴らしい演技ができるチームを編成し、パフォーマンスをとおして、種目人口を増やしたい。
- ジュニアスポーツ教室や三世代交流教室を継続して続けることの大切さを実感している。
- 普及が一部市町村に偏っているので、全市町村に教室を巡回して開催し、普及をはかる。最終的に地域対抗スポーツ部門に結びつけたい。
- メンタル面に関する講習会の開催を期待する。
- 複数の団体による合同事業は、単独で行うよりも相乗・波及効果が大きいと考える。
- 既成概念を破り、実施する場所(室内→屋外・雪上・砂浜)や時間帯(早朝・深夜・長時間)を変化させることも大切。
- 特殊な用具の整備に補助して欲しい。



## 功績をたたえる 表彰に輝いた方々

## 富山県功労表彰



村田邦夫氏 (60才)

多年にわたり、サイクリング関係団体等の要職にあって組織の充実強化や生涯スポーツの普及に尽力するなど、体育・スポーツの振興に寄与している功績が認められました。

## 富山県教育委員会教育功労者等表彰

江尻照美氏  
(60才)八木綾子氏  
(72才)吉江正一氏  
(79才)

3名の皆さんがそれぞれ、(財)日本3B体操協会北陸地区長等、富山県ダンススポーツ連盟副会長等、富山県ユースホステル協会会長等、の要職にあって、組織の充実強化をはかるとともに、各種目の愛好者の拡大に尽力するなど、体育・スポーツの振興に寄与している功績が認められました。

## 「スポレクとやま2010」への参加方法の案内

## ①都道府県代表参加種目の富山県代表選考方法 ②フリー参加種目の参加方法

全国スポーツ・レクリエーション祭は、勝敗のみを競うのではなく、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深めることができる生涯スポーツの一大祭典です。

「スポレクとやま2010」では、全29種目が開催されます。地元開催ということから、例年以上に多くの県民が選手として参加することができます。

「スポレクとやま2010」への代表選考方法や参加方法等についてのお問い合わせは、当協議会事務局(076-428-8522)または種目団体まで。案内リーフレット(3月下旬発行予定)でも確認できます。

全国から集う選手との出会い・ふれあい・感動を共有しながら、「新たなスポーツライフの創造」につなげましょう。

## 楽しい情報が満載

★生涯スポーツ協議会のHPへアクセスを!  
《アドレス》

<http://www.sportsnet.pref.toyama.jp/member/syougai-sports/> です。

当協議会では、ホームページの充実に努めています。団体や大会などに関する情報を随時発信していきますので、ご要望があれば、気軽に情報等をお寄せください。各種事業についての申請書や報告書等様式も載せていますので、ご利用ください。

## 編集後記

今回は、第22回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクみやざき2009」の感動編です。さすが南国宮崎、快晴のもと気温も27度と暑い中、それにも負けない富山県選手団の熱い活躍をお伝えします。選手団の皆さんお疲れさまでした。

いよいよ次は本県開催。第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」です。広報誌もスポレク一色となりそうです。充実した紙面になるよう委員一同がんばります。ご協力をお願いします。(広報委員 辰尾 妙子)

# 指導者研修会開催



- ◆期 日 平成21年11月21日(土)
- ◆会 場 富山県総合体育センター
- ◆講 師 宮崎県教育庁全国スポレク祭推進室 主査 田中 幸一 氏

いよいよ「スポレクとやま 2010」が始まります。今回は宮崎県教育庁全国スポレク祭推進室の田中幸一氏を招き、「もてなしの心 大切に」と題して講演会を開催しました。冬の訪れを感じる中、約90名が参加し、宮崎県の取り組みについて熱心に話を聞きました。この研修会が本県にとって貴重な生きた事例として大いに役立つものと確信しています。その一部を紹介します。

## 【おもてなし】

「おもてなし」というキーワードをもとに本県がどのような考えに基づいて祭典を迎えたのかということを紹介いたします。

まず、「宮崎県」と「スポレク」を知ってもらうことが「おもてなし」の基本と考えました。知らないと来ない、来ないとスポレクの良さ、宮崎の良さがわかっ

てもらえない、また、地域の活性化はありません。いかにして行ってみたいと思わせるか、やってみたいと思わせるかが第一歩です。そして来てみたらやっぱり良かったと思えるようなおもてなしをすることです。

来ていただくためのおもてなし、それから、来てからのおもてなしといった視点で、紹介します。

## 【宮崎らしさの取り組み】

「先催県は何をしたか」そればかりでは宮崎らしさがなくなります。先催県の実践を大切にしながらも、自分たちは何ができるのかを考えていかないと、おもてなしの心に欠けることになります。そこで、これまでにないということで幾つか取り組んでみました。

### ①「スポレク弁当コンテスト」です。

全国の皆様に宮崎ならではの味覚を味わってほしいと、広く応募したところ、118点の応募がありました。採点には一般県民も参加し、最優秀賞と優秀賞3点を選び、それを参考に大会の弁当を作りました。弁当には、お品書きとともに献立考案者の紹介も添えました。

### ②「県外参加者を増やすための取り組み」です。

フリー参加種目については、従来から、会場地市町が参加申込みを受け付けており、県外参加者が近隣県に限られる傾向にあった。本県では、各都道府県の統括団体が参加者を取りまとめ、県実行委員会に申込みする方式をとりました。これにより、参加者が増え、3倍になった種目もあったほどです。

### ③「広報活動」です。

PRティッシュの配布に力を注ぐとともに種目や体験コーナーの紹介は、冊子を作らず、ホームページの活用をはかりました。また、パンフレット類には、視覚障害者が情報を音で聞きとることができる音声コードを添付しました。ただ、種目別大会の参加で大きな失敗がありました。それは、「スポレクは誰でも参加できます」と謳いながら、多くの種目で参加制限があったことです。それが誤解を生じました。このことから、スポレク祭はどういう大会で、どういった方が参加できるのか、又は選考会を開くのであればいつ開くのか、県民に事前に情報提供していく必要があったと反省しています。

### ④「オプションルツアー」についてです。

本県の特長としては、トラベルセンターに依頼するのではなくて会場地市町が県観光部局と連携をとって作成したことです。スポレクで新たなことをするのはなく、既存のイベントを調整しながら企画しました。

参考になる話ができたか疑問ですが、宮崎の自然と同じように、温かい、人情味あふれる祭典にしたいという思いで、この祭典をつくりあげてきました。来年の富山県における祭典が大成功となることを心からお祈りいたします。



スポレクとやま2010の皆さんとコロキと君！あとは頼んだよ～